



原子力エネルギー（原発体系）からの
訣別を

無党派 相沢 一正 議員

議員 「今と未来を生きたる全ての命あるものために」とうとう東海村5次総は、3・11福島原発事故を踏まえれば、原子力エネルギーからの訣別ということをしつかりとすることですべて生きてくると思

う。

村長 福島原発事故にあつて経済一辺倒、便益と効率だけを追求している社会は、その文明はいかに危ういかを考えさせられ、価値観の転換が必要と思つた。

みて、その標語「今と未来を生きたる全ての命あるものために」「村民の叡智を生かしたまぢづくり」は、この時代状況、時代の閉塞状況を見抜いていると感じた。

3つの基本目標も含めてその対極にあるものは、やっぱり原子核エネルギーを利用する世界だろうと思う。原子核エネルギーは原爆を作る目的で開発され、それを応用して原発に発展してきたもので、原子核エネルギーを使うというものは原爆に通ずるものがある。

議員 投票率の低下は国政や3・11災害対応に対する政治不信が根底にあると思われる。今回の選挙は、3カ月前に住所を移した候補者がいたり、村長も特定候補者の応援演説を行うなどの報道がありました。どのようないましたか、どのような意図によるものなのか。来年9月には村長選挙があります。村長の起承転結、今では未完と言っているがその意味について村長に伺う。

そういう企み（たくら）をやる程悪くありません。特定候補については、具体的に話します。私の家の前の村上孝議員の出陣式には参りました。12月16日まで一緒に働いていました同志である照沼君が初めて出るというので、照沼君の出陣式にも出ました。この2人だけは出ました。人生色々で、私自身色々関係があり、私の地区の住民であり、目の前なので出ました。また、一緒に働いてきて、初めて出るということなので、これが悪いのか。起承転結、私の4期目のスローガ

ンで、未完の山を築こうではなく、新しい東海村を目指し、大きな目標を掲げて前進することである。

議員 答弁の冒頭について村長に抗議しておきたいと思つています。私は選挙後に転出した候補者を村長が呼んだとか呼ばないとかは聞いていません。また、地区住民の候補者ということであれば、村上議長も目の前に住んでいるが、答弁は求めません。村長の立場、知事の立場で、特定の人だけを応援するのは、問題であることを提起しておきます。



村議会議員選挙における投票率等について

新政会 舛井 文夫 議員